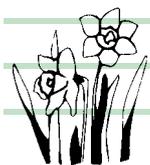


おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 56

22.4.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



小千谷小学校新校舎完成

公立学校として、日本一古い栄光ある歴史を持ち、これまで、14,780余名の生徒を送りだし、様々な思い出が詰まった旧校舎が姿を消すこととなり、この度、近代的な素晴らしい新校舎が完成。4月9日入学式が行われ980人の子供達がスタートしました。

新しい学び舎で気持ちを新たに、校歌に唄われている「希望は胸に、手を取り助け、光を担い」谷小教育目標である「心のみがく」立派な子供達が育っていくことを願っております。

議会中継

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

市議会本会議は市ホームページからインターネット中継でもご覧いただけます。

●第1回定例会決議報告 …… P2

●常任委員会報告 …… P3~4

●一般質問 …… P4~6

●議会日誌 …… P6

●雪あかり・編集後記 …… P6

—主な掲載内容—

第一回定例会 議決結果

条例の制定・改正・廃止

- 小千谷市環境うるおい基金条例 (全会一致)
- 小千谷市障害者介護給付費等支給審査会の委員の定数等を定める条例 (全会一致)
- 小千谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 (起立多数)
- 小千谷市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例 (全会一致)
- 小千谷市下水道事業に地方公営企業法を適用する条例 (起立多数)
- 小千谷市消防本部及び消防署設置条例 (全会一致)
- 小千谷市火災予防条例 (全会一致)
- 長岡市及び川口町の廃置分合に伴う関係条例の整理に関する条例 (全会一致)
- 小千谷地域広域事務組合の解散に伴う関係条例の整理に関する条例 (全会一致)
- 小千谷市下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整理に関する条例 (起立多数)
- 小千谷市課設置条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市行政手続条例の一部を改正する条例 (起立多数)
- 小千谷市職員定数条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市長及び副市長の退職手当に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市職員の退職手当に関する条例 (全会一致)
- 小千谷市手数料条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市立学校使用条例の一部を改正する条例 (起立多数)
- 小千谷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市介護保険条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市錦鯉の里条例の一部を改正する条例 (全会一致)

- 小千谷市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致)

新年度予算

- 平成二十二年小千谷市一般会計予算 (起立多数)
- 平成二十二年小千谷市国民健康保険特別会計予算 (起立多数)
- 平成二十二年小千谷市老人保健特別会計予算 (起立多数)
- 平成二十二年小千谷市介護保険特別会計予算 (起立多数)
- 平成二十二年小千谷市後期高齢者医療特別会計予算 (起立多数)
- 平成二十二年小千谷市工業団地事業特別会計予算 (全会一致)
- 平成二十二年小千谷市ガス事業会計予算 (全会一致)
- 平成二十二年小千谷市水道事業会計予算 (全会一致)
- 平成二十二年小千谷市工業用水道事業会計予算 (全会一致)
- 平成二十二年小千谷市下水道事業会計予算 (全会一致)

予算の補正

- 平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算(第八号)

その他

- 平成二十一年度小千谷市下水道特別会計補正予算(第三号) (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市工業団地事業特別会計補正予算(第一号) (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第四号) (全会一致)
- 平成二十一年度小千谷市水道事業会計補正予算(第二号) (全会一致)
- 専決処分(平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算(第七号)) (全会一致)
- 小千谷市財政調整積立金の処分 (全会一致)
- 公の施設の相互利用に関する協定の締結 (起立多数)
- 新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の減少及び規約の変更 (全会一致)
- 魚沼地域特別養護老人ホーム組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 (全会一致)
- 魚沼地域特別養護老人ホーム組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 (全会一致)
- 魚沼地域視聴覚教育協議会を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 (全会一致)
- 魚沼地域胃集団検診協議会を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 (全会一致)
- 小千谷市・魚沼市・川口町予防接種健康被害調査委員会を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 (全会一致)
- 小千谷市・川口町介護認定審査会の共同設置の廃止 (全会一致)
- 小千谷市・川口町障害者介護給付費等支給審査会規約の変更 (全会一致)
- 財産処分 (全会一致)
- 魚沼地区障害福祉組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 (全会一致)
- 小千谷地域広域事務組合規約の変更 (全会一致)
- 小千谷地域広域事務組合の解散 (全会一致)
- 小千谷地域広域事務組合の解散に伴う財産処分 (全会一致)
- 新潟県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 (全会一致)

●小千谷市・川口町障害者介護給付費等支給審査会の共同設置の廃止 (全会一致)

●関越自動車道新潟線の救急業務に係る関係関連業務の受託の廃止 (全会一致)

●長岡市・小千谷市廃棄物処理事務の受託について(全会一致)

●長岡市・小千谷市消防事務の受託について (全会一致)

●長岡地域土地開発公社定款の一部変更 (全会一致)

●契約の締結(変更)(小千谷小学校(建築主体) 改築工事) (全会一致)

●契約の締結(小千谷中学校東校舎(建築主体) 改築工事) (全会一致)

●契約の締結(南中学校屋内運動場耐震補強、大規模改造(建築主体) 工事) (全会一致)

●小千谷市議会委員会条例の一部を改正する条例 (全会一致)

り開催し、平成二十二年度一般会計予算及び平成二十一年度一般会計補正予算(第八号)については、社会土木委員会、産業経済委員会との連合審査会とい

ました。付託された議案十六件の内訳は、一般会計予算、補正予算、小千谷市環境うるおい基金条例の制定のほか、小千谷地域広域事務組合の解散に伴う条例の制定二件、組合解散及び機構改革等に伴う条例の一部改正四件、職員の時間外勤務に関する条例の一部改正二件、退職手当に関する条例の一部改正二件、市立学校使用条例の一部改正、協定の締結、川口地区の消防業務の受託各一件であります。

各議案とも慎重に審査し、十六件とも原案のとおり可決すべきものと決しました。

主な内容は次のとおりです。○議案第十二号小千谷市環境うるおい基金条例の制定は、東日本旅客鉄道株式会社からの寄附金を積立てるため、基金を設置したいとするものです。

○議案第一号平成二十二年度一般会計予算は、総額で歳入歳出それぞれ百七十六億九千万円で、前年度比三・八%の増であります。

歳入面では、地方交付税において増額が見込まれるものの、市税収入において景気低迷による法人・個人市民税の大幅な減収のため、必要な財源として財政調整基金繰入金を充てております。

歳出においては、小千谷地域広域事務組合の解散に伴う公債費の増、子ども手当での計上、営農団体への補助金の計上等のほか、重点施策を主に、緊急性や実効性を重視しながら、限られた財源の有効配分を行うとしております。

○議案第三十五号平成二十一年度一般会計補正予算(第八号)は、主として小千谷地域広域事務組合の解散に伴うもの、環境うるおい基金の新規設置に伴うもの、除雪業務委託料の増、小千谷小学校改築事業費の減等であり、歳入歳出それぞれ二十四億五千二百八十一万六千円を増額し、歳入歳出予算の総額を二百十七億三千百五十四万四千円とするものです。

本委員会に付託されました議案は十件であり、その内訳は、国民健康保険、老人保健、介護保険、後期高齢者医療の平成二十

十二年度各特別会計予算のほか、小千谷地域広域事務組合の解散に伴う廃棄物関係条例の制定二件、川口町との合同審査会を小千谷市単独の審査会とするための条例の制定及び一部改正各一件、後期高齢者医療に関する条例の一部改正一件、川口地区の廃棄物処理業務の受託一件であります。

各議案とも慎重に審査し、十六件とも原案のとおり可決すべきものと決しました。

主な内容は次のとおりです。○議案第十四号小千谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の制定は、小千谷地域広域事務組合の解散に伴い、同組合が担っていた廃棄物処理事務を小千谷市が引き継ぐこと及び平成二十三年度からのごみ処理有料化実施のため、条例を制定したいとするものであり、有料化の可否と実施時期、不法投棄への対応、市民に対する広報等活発に意見・討論が交わされました。

○各特別会計の予算の総額は、国民健康保険三十六億千三百二十万四千円、老人保健四十五万六千円、介護保険三十四億六千五百二十九万九千円、後期高齢者医療七億二千五百一十四万四千

円であります。本委員会に付託されました議案十三件を慎重に審査し、原案のとおり可決すべきものと決しました。

十三件の内訳は、平成二十二年度小千谷市工業団地事業特別会計予算、ガス・水道・工業用水道・下水道の平成二十二年度各事業会計予算、下水道及び工業団地事業特別会計の平成二十一年度補正予算、ガス・水道事業会計の平成二十一年度補正予算のほか、下水道事業に関する条例の制定二件、錦鯉の里条例の一部改正、退職手当に関する条例の一部改正であり、主な内容は次のとおりです。

○議案第十六号及び第二十一号は、事業管理の効率化を図るため、農業集落排水事業を含む下水道事業に地方公営企業法を適用するため条例を定めるものがあります。

○議案第三十三号小千谷市錦鯉の里条例の一部改正は、団体観光客等の集客力を高めるため、新たに入場料の減額規定を設けたいというものであります。

○平成二十二年度工業団地特別

であります。

三常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会は、二月二十四日から三月一日までの四日間にわた

社会土木委員会

本委員会に付託されました議案は十件であり、その内訳は、国民健康保険、老人保健、介護保険、後期高齢者医療の平成二十

産業経済委員会

であります。

会計の予算の総額は、造成工事の完了により前年度比九十・三%減の三千六百五十九万五千円であります。

○平成二十二年企業会計予算の事業収益は、ガス事業において料金の引き下げ等により十七・二%の減、水道事業において一・

四%の減、工業用水道事業において〇・一%の増と見込んでおり、初めて企業会計を適用する下水道事業においては事業収益を十五億六千六百三十万七千円、事業費用を十五億六千三百七十七万六千円、差引額を二百五十三万千円と見込んでおります。

市政の内容を聞く 一般質問

住宅リフォーム助成 ごみ有料化反対

風間 健一 議員

質問 中小建設業者の仕事確保と地域経済の活性化対策として、住宅需要を喚起し地域経済への波及効果が大きい「住宅リフォーム助成制度」の創設・実施が広がっています。胎内市、十日町市、津南町が実施し、申し込みが殺到し、地域の中小建

設業者の仕事起こしに大きな役割を果たしています。またリフォーム助成が呼び水になって、関連する業種や飲食店にもお金が集まり、十〜二十倍の経済波及効果をもたらしています。小千谷市でも創設をお願いしたいが市長の考えを伺いたい。

答弁 平成二十二年度から「木造住宅耐震改修助成制度」開始予定です。「住宅リフォーム助成制度」の予定はありません。

質問 資料によれば、中越地震前の平成十五年に比べ確実に家庭系のごみは減量しています。ごみの分別収集、資源物集団回収の支援等様々な取り組みによるものと高く評価します。しかし、その取り組みに対する市民の協力を忘れてはなりません。



せん。その市民は今長引く不況にあえいでいます。この上さらに市民に負担を課すごみの有料化を導入すべきではありません。有料化ではなく、行政の積極的なごみ減量対策と市民の協力でごみの分別・リサイクルをさらに徹底すれば、ごみの減量化を実現できると考えます。ごみ処理の有料化は中止していただきたいが市長の考えを伺いたい。

答弁 ごみ処理有料化はごみ減量化や公平性の確保につながるとして、国も導入を勧め、県内先行自治体の多くは減量につながったと評価しています。

JR上越線山寺踏切 について

吉崎 進 議員

質問 山寺踏切については、ここ数年来改良要望が出されている。その理由は、通学路であり、車両の通行量も多いが、幅が狭く、踏切の間も長く、危険性が大きいことである。現在、山寺踏切には上越線の上り、下りの二線路と引き込み線の一線路の三線路がある。この引き込み線は信濃川発電所を建設するため引かれた線路で十数年前から

は途中で切れている。

JRは、小千谷市に二十三億円を寄附することになっている。この基金を使って踏切を改良してほしいと言わないが、引き込み線を整理すれば、山寺踏切の間が短くなり、引き込み線の部分の道路を広げることができる。山寺第二踏切を廃止することなく改良できることになるが、市長の考えは。



答弁 平成十六年六月に地元市議、東小千谷地区町内会長協議会長、山寺町内会長、東小千谷小学校PTA会長から要望が出された。中越地震で中断していたが、不正取水問題への対応に関連してJRから「地域との共生を図りたい」との考えをもらい、山寺踏切拡幅の要望を伝えられている。また、平成二十一年十二月には、東小千谷町内会長協議会から再度要望書の提出を受け、そのことも含めて信濃川発電所業務改善推進部を通じてJR東日本に話をしており、現在も協議の最中である。

信濃川発電所水路 道と南部郷の小学校 統合問題について

田中 淳 議員

質問 JR東日本と関係水利団体との協議はどうなっているか。水路隧道による被害と、その要因についてのJR東日本の対応と当市の考えについて。また、当市としてJR東日本地域との共生についての考えを問う。

市長答弁 現在個別交渉が行われており、市としての同意は、基本的には、市内の他の団体の同意がなされた時点と考えている。

水路隧道 による陥没事故や地下減水被害は、不正取水以前からの問題であり、水利権申請



(JR宮中発電所)

が決着したから終わりというこ
とではないと認識している。

これまでも、観光PRや信濃
川河岸段丘ウォークへの協力的
などいただいていたが、今後も首
都圏の電力を担う地域として、
JR東日本の集客力を活かした
協力を願っていきたい。

質問 南部郷の小学校統合に関
し校舎一体となった中での小中
連携、また一貫校制についてど
う考えているのか。

空き校舎の活用方法として、
高等部を含む養護学校の整備に
ついての考えを問う。

教育長答弁 今後、南部郷の小
学校の統合で施設一体型になっ
たとしても教育課程特例校のよ
うな学区分や、新規教科の導
入は考えず、現行制度での小中
の連携を考えている。

養護学校の整備については、
障がいのある子供たち一人ひと
りの能力を高めるうえで、小中
高一貫教育は効果があり、受け
入れる場も地域に根ざした一定
規模の教育環境が望ましい。

県の特別支援教育に対する考
え方も、地域の子供は地域の中
で学び育てることを推進してい
る。空き校舎の活用の可能性も
含め、検討課題としたい。

市長選挙について

横田 卯一 議員

質問 本年十一月十四日に執行
される小千谷市長選挙に、再度
出馬の意思の有無について、お
伺いしたく質問します。

当市歴代市長のほとんどは二
期以上務め、市民福祉に貢献さ
れました。あなたも描いた構想を
確実に仕上げるには、大先輩を鏡
として、再度務めるべきと思う。

市民の震災復興意識も向上し
てきた矢先に未曾有の経済不況
が発生し、中小企業緊急経済対
策資金制度の創設等の対策をと
られた。また、平成二十二年度
の主要事業として、小千谷小学
校改築事業の完成、農業問題、
中心市街地活性化事業の支援等
を予定し、南部地区小学校再編
の推進や小千谷総合病院と魚沼
病院の統合整備の支援策等課題
は山積しています。特に病院統
合は、全市民が最も期待する関
心事であり、地域医療を守るこ
と、これに勝る市民サービスは
無いと確信するものであります。

私も政策研究会でも再度出
馬を促す方向であります。あ
くまでもあなた自身の言葉で、

力強い出馬表明をされることを
期待します。

答弁 小千谷市が必要とするこ
とを最後まで成すべしとの重い
責任を問われたと受け止め、強
い決意を持って、再出馬を表明
します。

私は、市長として常に小千谷
市の将来を考えながら判断をし
てきました。さらに住みよい市
であり、発展を続ける市である
ために成すべきことは多く、病
院の統合、教育環境の整備、産
業の振興等を着実に進める覚悟
であります。

今後とも市民の皆様、議員の
皆様の絶大なご支援をいただ
けるようお願い申し上げます。

米戸別所得補償制度 と国民読書年について

西沢 代三 議員

質問 「農業者戸別所得補償の
施行」は全国的に政策効果が注
目されている。田園都市小千谷
も、①小規模零細(経営)②農家
の高齢化③後継者の不足④耕作
放棄地の増加⑤自給率等が共通
(全国)の課題としている。これら
個々の課題解消にどのような効
果に反映が期待されるのか。

「子ど
もと本の架
け橋事業」
として巡回
貸出図書
の整備や出張
お話し会、

答弁 平成二十二年度は「戸別
所得補償制度モデル事業」を実
施、翌二十三年度の同本格施行
に移行する。大豆やそば等に対
する国の助成金が減額されるた
め、独自の激減緩和対策等の緊
急措置を講じたい。第二種兼業
農家の割合は七十二%の高率で、
所得面のメリットはあるものと
考えております。

質問 今年国民読書年であり、
政官民一体となって「国民読書
力の底上げ運動」が推進されて
いる。同運動に合わせるような
企画が検討されているのか。

一般健常者はもとより読み書
きに不自由な障がい者や高齢者
の対応はどうか。

山本山大橋の整備等により東
小千谷の街区は拡大し、小千谷
駅、県立小千谷高校、小・中学校、
幼稚園などが適度に集積された
文教地域である。市立第二図書
館の早期整備が期待されている。

答弁 国民読書年に合わせて新
たに「子ど
もと本の架
け橋事業」
として巡回
貸出図書
の整備や出張
お話し会、



絵本作家による講演会など企画
しております。玄関のバリアフ
リー化やエレベーターを整備し
ており、大文字図書などを揃え
ております。

ごみ収集有料化につ いて

佐藤 隆一 議員



分別・洗淨!
ゴミ半減!

質問 市は平成二十三年四月か
ら、ごみ収集有料化を提案して
おり、以下質問します。

①平成十二年以降、震災による
一時期を除いてごみの量は減少
しているが、その要因は。②有
料化した県内十五市中九市で住
民意識向上したと報告されてい
るが、その根拠は。③レジ袋削
減が不十分のもとでは新たにご
み袋をつくることになりかねな
い。有料化には条件整備が必要
ではないか。④分別はそのまま
で公平性に反するから有料では
順序が逆ではないのか。⑤不法
投棄対策に対する取り組みは。
⑥負担を強いる有料化は市民の
理解と努力なしには成功しない

が、なぜ世界的な不況のもとで実施するのか。

答弁 ①燃やすごみは減少、資源ゴミは横這い、埋立・粗大ごみは減少しています。各団体の集団回収や古紙回収の成果です。②詳細分析はないが、分別意識が高まった、ゴミステーションがきれいになったなどが報告されている。③小千谷市もレジ袋削減宣言し、市報で周知に努めている。住民登録していない市民からも負担してもらいたい。④分別の細分化については費用対効果も考え、今後の検討課題としたい。⑤有料化で先行した他市で増加した事例もあり、原因者不明の場合早期撤去が必要。意識改革と市民の協力が不可欠。⑥ごみ処理有料化は平成八年以来の検討事項であり、昨年三月二十六日審議会の答申をうけて実施計画を策定し今回の提案となった。時期を選んだものではない。各種の軽減措置についても考慮したい。

子宮頸ガン予防ワクチン助成について

安達 稔 議員

質問 日本人の死亡原因の第一

位がガンであり、年間三十万人以上がガンで亡くなっている。

女性がかかるガンでは乳ガンについて二番目に多いのが子宮頸ガンである。二十〜三十代の女性がかかるガンの第一位である。

近年、子宮頸ガンはウイルスの感染が原因と解明され、唯一予防が可能なガンであることがわかった。厚生労働省も昨年予防ワクチンを承認。十二月からワクチンの接種が可能となった。当市の医療機関でも接種が受けられ、一回一万五千元、三回接種することから約五万円かかる。この接種で二十年近い効果が継続するとされる。り患した場合の医療費と労働損失は接種にかかる費用の数倍とされ経済的側面からも費用対効果にすぐれている。

このため、全額公費助成を打ち出した魚沼市に次いで全国各地で公費助成の動きが広まっている。過去に経験のない超高齢化社会という難題を抱えており、それらの問題を解決する前提として、女性の健康を守ることが重要となる。市民の生命、健康を守ることは市政の最優先課題。当市も公費助成に踏み切るべきと考える。

答弁 魚沼市では中学一年生の女子を対象に予防ワクチン接種を全額公費助成で実施すると発表しています。当市のがん予防事業は、国・県の施策に準じて実施しており、現在、県から情報提供はない。公費助成については、今後国・県の動向を見ながら検討したい。

議会日誌

1月〜3月

1月

- 7日 議会報編集委員会
- 14日 議会報編集委員会
- 22日 議員協議会
- 議員全員協議会

2月

- 3日 議会報編集委員会
- 4日 議会運営委員会行政視察に出発（福島県相馬市）
- 8日 議会報編集委員会
- 10日 議員協議会
- 16日 議会運営委員会
- 18日 広域行政圏市議会協議会総会（東京都）
- 23日 第一回定例会（本会議）
- 議会報編集委員会

3月

- 1日 総務文教委員会
- 2日 社会土木委員会
- 3日 社会土木委員協議会
- 産業経済委員会



38

減免制度を生かす時



太刀川 竹之 (片貝町)

不況が長引いている。収入が減って生活が苦しくなっており税金の滞納が増えている。例えば税金の中でも金額が大きい国民健康保険税、加入者は全国二千五百万世帯であるが、滞納は実に四百八十万世帯に上っている。(平成十九年の統計)

先日、私は小千谷市にも市税の減免制度があると聞き、税務課から「小千谷市税減免要綱」のコピーをもらった。要綱によれば対象となる市税は、市民税、固定資産税、都市計画税、国民

健康保険税である。個人の納税義務者が災害にあった場合や死亡、傷病、廃業、休業、倒産、退職または休職により納付することが困難と認められる場合、税額を軽減および免除する制度である。

しかし、こうした制度があることをほとんどの市民は知らない。「市報おぢや」や「納税通知書」発行時にお知らせしてはいかがだろうか。

また滞納になると、延滞金が年十四・六%かかることもあまり知られていない。早めに市役所に相談してはいかがだろうか。出口の見えないこの不況、今が踏ん張りどころなのである。

おわび 市議会だより55号の雪あかり掲載に当たり、原稿の一部が欠落いたしました。寄稿いただきました太刀川さんにお詫び申し上げ、再掲いたします。

編集後記

ようやく四月に入り、本格的な春になるかと思っておりましたが、今年は寒暖の差が大きく、不安定な日が続いております。しかし、この「議会だより」が皆様のお手元に届く二十五日には桜の花も満開となっておりますと思われます。一日も早く安定した陽気になることを願っております。